



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第22号 令和4年10月26日

# 名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子  
(未来のための三つの心 **自立心** **向上心** **思いやりの心**)

## 全力でかけめけた 運動会

～全力で かけめける 仲間と共に つかめ優勝～

秋の爽やかな日差しの下、令和4年度の運動会が無事開催されました。運動会スローガンのように子ども達一人一人が全力を出し切り、とても良い表情をしていました。子ども達は「今回はおじいちゃん、おばあちゃんも見に来るんだあ」「まだ、家の人に踊りは見せないでいるよ」等、多くの人に見てもらうことをとても楽しみにしている声が聞こえてきました。多くの方に来校していただいたことも子ども達にとっては頑張るパワーにもなりました。

開会式でもお話しをしましたが、運動会等のさまざまな行事には、自分を成長させるチャンスが2回あります。当日までの取組の過程と当日の取組です。過程では上手にできるようにするために何度も練習したり、あきらめかけても再度練習したり、苦手なことにも全力で練習したりするなど目に見える形での変化もありますが、それ以上に当日までに頑張った心の強さは次に繋がる大切な財産となっていきます。そして、当日にはうまくでき成功することもあれば思うようにできなかつたり失敗することもあります。その中でもあきらめずに最後まで全力を出し切る強さ、結果を受け止め、振り返り、次につなげることです。最終的な結果ではなく、それまでの過程があるからこそ当日に全力を出し切ることができます。ご家庭では全力を出し切り、頑張ってきた姿を認めて、褒めていただき、今回の運動会を通して、また、次に頑張ろうとする新しいエネルギーを注入していただければと思います。

最後に運動会当日にあのような素晴らしい姿が見られたのも、各ご家庭において子ども達に温かい言葉をかけ、励ましていただいたおかげでもあります。また PTA 役員の方々には朝早くから駐車場整理やパトロールで安全を確保していただきありがとうございました。これからも子ども達が伸び伸びと学校生活を送れるようにご協力をお願いいたします。



# 警戒度1にともなう感染症対策について

「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の改訂がありました。また、以前から屋外では他者と身体的距離が取れている、会話をほとんど行わない場面ではマスクの着用は必要ないことを話してきていますが、なかなか自分の判断ではずすことができません。コロナへの不安を持っている子どももいますが、適切な判断の元、屋外では積極的にはずすように話をしています。マスクをしていることで表情をだせなくなっていたり、友人とのコミュニケーションを上手にとれない、お互いの表情が見えない等、目に見えない内面的な変化も出てきています。ご家庭でもお子さんにマスクの適切な着用、着脱についてお話しをしていただき、登下校時はできるだけマスクをはずすようにご家庭でもお話しをしてください。学校でも通常の教育活動の実施にむけて検討してまいります。ご理解とご協力をお願い致します。

## 先日の就学時健診で話した内容を紹介します

### 1 これからの子どもたちに求められている力

- 自分で課題を解決していく力
  - ・ 解決方法を与えるのではなく、自ら解決方法を見出す力を身につけること

### 2 今、身につけること

- ・ 大人への成長のために、今必要なこと
- ・ 自分に自信を持ち、自ら行動ができる（自己肯定感の向上）

### 3 子どもへの働きかけ

#### ① まずは、体験をさせましょう！！

- ・ 「やりたい」「挑戦したい」意欲を持っているのが子ども。
- ・ 子どものトライ&エラーを見守る勇気。そして、励まそう。

#### ② 具体的に褒めましょう！！

- ・ 少しでもできたら「褒める」それが、基準となる。そして、次への意欲が湧く。
- ・ 子どもの行動をそのまま言葉にして褒める。
- ・ 大人も子どもも褒められることはうれしいこと。

#### ③ 言葉を投げかけて考えさせましょう！！

- ・ 子ども自身が、自らの行動を変化させる。
- ・ ちょっとした変化に気がついてあげる。
- ・ やりとげさせる。成功体験で終わらせる。
- ・ 現象や課題を見て、原因を共に考える。

#### ④ 良いイメージを持たせましょう！！

- ・ 子どもは見て学ぶ。
- ・ 親の姿は子どもに大きな影響を与える。
- ・ 子どもと一緒に、片付けや掃除をする。

### 4 良い生活習慣

- 「早寝・早起き・朝ご飯」
- 歩いて登校（体力・危険回避能力の向上）
- ゲーム・ユーチューブ動画・メディア機器の上手な活用、家族内でのルールづくり。

一人一人成長の速度は違います。個性も違います。人と比べるのではなく、子どもの良いところを見つけて伸ばしましょう。